

学区地域説明会の主な質問と回答

目次

再編計画について・・・・・・・・・・ P 1

幼稚園・保育園について・・・・・・・・ P 3

学校規模について・・・・・・・・・・ P 5

学校施設について・・・・・・・・・・ P 6

通学手段について・・・・・・・・・・ P 6

小中一貫教育について・・・・・・・・ P 7

地域振興について・・・・・・・・・・ P 7

財政面について・・・・・・・・・・ P 8

アンケートについて・・・・・・・・ P 8

その他・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9

■学区地域説明会の主な質問と回答

番号	カテゴリー	質問【要約】	回答【要約】	地域
1	再編計画について	今後の再編検討協議会のメンバーは決まっているのか。若い保護者や長期間在籍できるメンバーを選んでほしい。	現在の学区単位で、PTAの代表の方、保護者の方、区・自治会、自治振興会の代表の方を考えています。検討には時間を要することから、複数年検討に加わっていただける方に入っていただいて進めていきたいと考えています。こちらが一方的に決めるわけではありません。	土山（大野） 甲賀（大原） 甲南（希望ヶ丘、第二） 信楽（多羅尾）
2		幼稚園・保育園と小学校・中学校を分けて考えることは可能か。	進め方については、10年先を見据えて幼保小中を含めて提案していますが、必ず一緒に進めるということではありません。どちらかが早く進む、もしくは遅れる場合も出てくると考えています。	信楽（朝宮）
3		再編の話が出てきたのは、5月の新聞報道である。突然知らされたというのが実態である。どうしてこの話が急に出来たのか、その経緯を教えてください。	本市は8年前から取り組みを行ってきました。説明手順として、議会、市民の順番を想定していました。しかし、議会への説明は公開の場で行われるため、傍聴にこられた記者の方がそれを記事にされました。そのことから、市民に説明する前に記事となりました。	甲南（第三） 信楽（小原）
4		統合すれば、若い教員や校長、教頭等の管理職が辞める事態になるのではないか。	教員は、基本的に県の職員です。人事異動は県内全域を対象としているため、本計画が進めばその点も踏まえた人事異動が行われることとなります。	甲南（第三） 信楽（小原）
5		再編に伴い、学校選択制等の導入は検討されているのか。	現在の制度でも、特別な事情であれば他の学校を選択することは可能です。学校選択制についても、前向きに考えていく必要があると考えています。	甲南（希望ヶ丘）
6		統廃合しても支援学級について、十分に配慮していただきたい。	甲賀市の場合、特別支援を必要とする子どものケアは手厚いものがあります。これからの時代、障害の有無に関わらず、同じ環境の中で子どもたちが一緒に育っていく環境をしっかりと整備します。	甲賀（大原） 甲南（希望ヶ丘）
7		計画は各旧町別になっているが、全然地区別のことが考えられていないのではないか。旧町を越えた再編についても議論が必要ではないか。	現状として、まだ旧町の意識があります。最初は、旧町を越えた再編も検討しました。しかし、中学校は町の教育のシンボルであり、中学三年生は町の総力を挙げて育て上げた子どもたちです。小学校と中学校を一度に再編するのは現実的でないとの判断から今回の計画となりました。	甲賀（大原） 甲南（第三）
8		園や学校の再編自体が目的ではないということだが、今回の計画の目的は何なのか。	再編の目的は単に適正規模を求めることではありません。最終の目的は「夢と力を蓄えた中3生15歳」を育てることです。子どもたちをしっかりと育てることが最終の目的です。	甲南（第三）
9		今回の計画は、市の総合計画や自治振興会の地域づくり計画等整合を図り、総合的に進めているのか。この計画だけが先行していないか。	他の計画の見直しも含めて、総合的に整合性を図っていきます。	甲賀（佐山） 信楽（雲井）
10		全てを1つの枠にあてはめるのではなく、もっと地域性を考慮した計画にしてほしい。	10年先に一斉にこの計画をあてはめるものではありません。地域によってはもっと早くしてほしいとの意見もあります。そういった地域については、総意の中で早く進む場合もあります。	水口（柏木） 甲賀（大原）
11		一度進めば後戻りできない。間違いがないように時間をかけてじっくり進めてほしい。	我々は一つの形を提示させていただきました。誤りがないように、地域と協議しながら、しっかり検討していきます。	甲賀（大原）
12		幼稚園・保育園の民営化をどこにするかについても、再編検討協議会で変更可能なか。	計画は決定ではありませんが、公立園、私立園の考え方については、国の方針や補助金の関係もあるので、現在の考え方に則って進めたいと考えています。ただし、すべてを民営化するのではなく、甲賀市の教育・保育を推進する責任を明確にするために旧町に1園は公立園を残し、指導や情報発信の拠点としたいと考えています。	水口（伴谷・伴谷東）
13		この計画が成就すれば、どの程度の期間通用するのか。	人口推計については、現在生まれている子どもの数がわかる33年まで行っています。新たな住宅開発による増加等、様々な要素を加味していく必要があります。10年先20年先を見込むことは、難しいです。推計については、絶えず見直ししていく必要があります。	水口（綾野）

番号	カテゴリー	質問【要約】	回答【要約】	地域
14	再編計画 について	そもそも、なぜ再編の話が出てきたのか。	人口減少により子どもが減っていくなかで、子どもたちにとって望ましい学校がどうあるべきかの検討がそもそものスタートです。	水口（柏木）
15		10年後に横一線でやるというようにならないのか。出来ればします、出来なければ仕方がないという程度なのか。やるならスケジュールをしっかりと持ってやってほしい。	学校再編は地域の大きな関心事であり、地域の思いも強いです。その点もしっかり説得、説明します。我々の中には、もちろんスケジュールはあります。	水口（貴生川）
16		今日的な課題が当てはまらない地域は再編をするべきではない。	地域によって、あてはまらない部分もあります。子どもの数が減ってくる中で、これは地域の判断になります。	甲賀（佐山）
17		文科省の手引きに基づいた中立的な計画を示してほしい。	今回の計画は、我々が望ましいと考えることを提案しています。是非も含めて検討いただきたいと考えています。	甲賀（油日）
18		段階的に協議との説明であったが、再編ありきで検討するのか。	我々の計画以外のやり方、あるいは再編しないことも一つの結論です。	信楽（雲井）
19		再編すると答えが出たら実施計画検討協議会が開かれ、しないとすれば開かれたいと理解してよいのか。	おっしゃるとおりです。	信楽（雲井）
20		再編の是非については、それぞれの学区で決めてもよいということか。	強制的に再編を進めることはしません。	信楽（雲井）
21		貴生川認定こども園の結果を見ていると、反対があっても進めるように思うが違うのか。	全員の賛同が得られなければ進めないというわけではなく、多くの理解が得られるよう取り組んでまいります。	信楽（雲井）
22		今回の計画と国の手引きの関係はどうか。	国の手引きは、平成27年1月27日に出されました。市の取り組みは、8年前に遡ってスタートしています。手引きとの整合を確認した上で、市の計画として今回提案しています。ある意味では市の取り組みでやってきたという自負を持っています。	土山（山内） 甲南（第一）
23		10年計画とあるが、最短でいつ頃実施されるのか。今後のスケジュールを知りたい。	まずは小学校区単位で再編検討協議会を設置し、その中で議論いただきます。それぞれの地域性があり、地域によっては、10年かからない場合もありますし、場合によっては、10年を超える場合が出てくるかもしれません。ご理解いただいた地域から前に進めていきます。	水口（伴谷・伴谷東、水口、貴生川） 土山（大野、土山） 甲賀（油日） 甲南（第二、中部、希望ヶ丘） 信楽（信楽、朝宮、多羅尾）
24		今のまま残すことも含めて、説明されたパターン以外の再編もあえるのか。	再編検討協議会は、スライドでもご覧いただいたとおり再編の是非も含めて検討いただくこととなります。まずは再編をするのかということが最大のテーマになると考えています。	水口（伴谷・伴谷東、柏木） 土山（大野、山内） 甲南（第二、第三） 信楽（小原、朝宮、多羅尾）
25	今後議論するときは、年度別の推移を地域ごとに示してほしい。	-	水口（伴谷・伴谷東）	
26	山内地区の将来を心配し、子どもたちのための学校でなくてはならないし、地域を守るために子どもたちを犠牲にしてはならないと考える。	-	土山（山内）	
27	子どもは「早く、友達が大量いる学校に行きたい」と言っている。地域の活性化も大事だが、そこは大人が知恵を絞って皆で考え、子どもに負担がかからないような学校であるべきだと思う。	-	土山（山内）	
28	感想として、素晴らしいと思った。ただ話にもあったように魂を入れるということで、子どもたちにとってどうなのか、を常に念頭にもってやってほしい。	-	水口（貴生川）	
29	鮎河小学校が休校となったが、山内小学校も何もなくても同じように休校になると思う。子どもらが胸をはって、通える学校にして欲しい。	-	土山（山内）	

番号	カテゴリー	質問【要約】	回答【要約】	地域
30	再編計画 について ご意見	保護者の意見を聞いたら、反論はできない。ただし、学校がなくなった地域についてどうあるべきか。市は行政のエキスパートとして総力あげて支援を考えて欲しい。	-	土山（山内）
31		単純に児童数から学校を減らすのはやめてほしい。これまでの甲賀市の教育環境を評価して進めてほしい。甲賀町は家庭や地域の教育力が非常に高い。甲賀市独自の現状をよく見て結論を出してほしい。私の意見は現在の小規模校を維持することである。	-	甲賀（佐山）
32		適正規模になる取り組みをしなかった結果、10年後子どもに「ごめんなさい」と言わないでいいようにしてほしい。	-	水口（貴生川）
33		地域の声を世帯ではなく、小学生、女性など、いろんな方を対象に階層別にとり、分析してほしい。	-	甲賀（大原）
34		説明会の日程、時間などを地元で会議のない日や保護者の出やすい時間に工夫していただきたい。	-	甲賀（佐山）
35		統合した際、先生を充実させる等、保護者が納得する形にしてほしい。	-	信楽（雲井）
36		答申を出した委員会に、小規模校の出身者が3名しかおらず、小規模校の意見が反映されているとは思えない。	-	信楽（雲井）
37		1度目は悪天候の影響が保護者の参加が少なく、2回目に期待していたが、今回も保護者の参加が少ないように思う。もっと保護者の意見が聞きたいと感じた。説明会に保護者が参加しやすい環境を整えてほしい。	-	信楽（雲井）
38		地域が割れるような進め方はやめてほしい。	-	土山（山内） 甲南（中部）
39		保護者の意見として、本当に必要な人間が置いていかれているように思う。	-	甲南（第二）
40		基本は現状維持で何とかならないのかという思いでいっぱいである。	-	甲南（第二）
41		規模も大切だが、教育は家庭、学校、社会の3つの柱で成り立っていることを忘れないでほしい。	-	甲南（第二）
42		地域を愛する心が基本であり、それをないがしろにして進めないでほしい。	-	信楽（雲井）
43	学校は地域にとって中心であり、精神的な心の支えである。そういった施設がなくなることはさみしいことである。	-	信楽（雲井）	
44	家庭的保育事業について説明があったが、どのような取り組みが考えられるか。 統廃合に合わせて受け取る側にたったサービスを検討してもらいたい。	家庭的保育事業は、子ども子育て支援新制度に則り、少人数の保育を行う施設で、目的は、待機児童の対策と、子どもの数が減少傾向にある地域の子育て機能を維持していくことです。今後再編検討協議会等で、制度について説明し、共に考えていきます。	信楽（雲井）	
45	保育園で療育が受けられるのか。特に甲賀市は療育がとても遅れていると思っているのでお聞かせいただきたい。	特別支援の必要な子どもについては、各保育園で、1対1などの支援をしています。この部分については、再編後さらに手厚く進めていこうと考えています。	信楽（雲井）	

番号	カテゴリー	質問【要約】	回答【要約】	地域
46	幼稚園・保育園について	公立園と私立園があるが、その違いを教えてください。	基本的な部分では公立・私立の違いはありません。ただし、義務教育ではないため、保護者の考えで園を選ぶことができます。私立園はその園ごとに特色ある教育の実施が可能であり、それにより保護者のニーズに応えることができます。その点が公立と私立の違いです。	水口（柏木） 甲南（第一、希望ヶ丘）
47		兄弟で同じ園に通うことができるようにしてほしい。	入園の希望状況には偏りがあります。特に低年齢児は、希望する園に入れないという状況があります。できるだけ同じ園に入れるように、努力もしていますが、入れない場合もあります。毎年入園審査基準指数表を見直すなど、保護者のニーズに応えられるように検討していきます。	水口（貴生川） 甲南（第一）
48		公立の保育園の駐車場が狭いので、是非この際に十分なスペースを確保願いたい。	公立園での駐車場の不足については、借地で対応するなどしています。再編後の園は、施設、サービスを充実させたいと考えています。	甲南（第一）
49		自園給食は本当に可能なのか。	基本的には、自園給食という考え方をしています。民間の保育園についてはすべて自園給食を実施しています。統合していく園については子どもの食育という部分で自園給食の完全実施をしていきます。	甲南（第三）
50		南保育園は、すいぶん古いが、再編計画があるため、改修はしないのか。特にトイレが古い。	昭和50年に竣工して以来40年経過し、かなり老朽化しています。一定規模の改修は、再編計画の協議を進めていく中で進捗・方向を踏まえながら対応を考えていく必要があります。トイレの問題については、衛生管理や安全対策の補修等修繕は対応を検討していきます。	甲南（第三）
51		保育園・幼稚園の定員はどのように設定するのか。	答申は地域事情などを加味していません。今後私立園と調整しながら、ニーズ等を考慮して定員の規模を検討していきます。現状は150人程度ですが、最終的には200人、250人程度の規模になることも考えられます。ニーズに応えられる形で定員を設定していきます。	水口（伴谷・伴谷東、柏木） 甲賀（油日） 甲南（希望ヶ丘）
52		現在は家庭の事情に合わせて、保育園を選べるようになっているが、再編によって園が遠くなる場合の対応について検討されているのか。	保護者の判断により、自由に園を選択できます。数が減ることで遠くなる部分については、受入年齢の拡大、保育時間の延長などサービスを充実させることで対応したいと考えています。利用やニーズにできる限り応えていきます。	水口（伴谷・伴谷東） 甲賀（油日） 信楽（雲井）
53		認定こども園は、幼稚園・保育園を別々の業者が運営されるのか、1つの業者が運営されるのか教えてください。	1つの業者に運営いただきます。	水口（伴谷・伴谷東）
54		保育園では現状ですら待機がある。私立では待機のために費用が発生する。多数の待機があって、待機料を払っても本当に入れないのかもわからない、この現状を見ずに将来減るからと計画をたてられている。今後は良いが、現状はどうするのか。	保育園については、待機にかかる費用は発生しません。待機については、地域によって状況がだいぶ違います。水口地域では、入園調整で保護者の皆様に迷惑をかけています。今回の再編計画の中で、統合により保護者のニーズに応えられるよう、待機児童の出ない定員設定をすることとしています。	水口（伴谷・伴谷東）
55		公立と私立で費用は変わるのか。	保育園及び新制度に移行した幼稚園については、保育料は同じです。ただし、幼稚園の制服等は園によって違う場合があるため、今後保護者負担の差を解消していきたいと考えています。	水口（伴谷・伴谷東、貴生川）
56	私立になることのデメリットも教えてください。	デメリットは大きく2点あります。1点目は、統合することで遠くなることです。この点については、新しい園をバランス良く配置する、サービスを充実するなどの対応で解消したいと考えています。2点目は園が変わることに不安感があることです。この点は、ガイドラインを整備することで対応させていただきます。	水口（伴谷・伴谷東、綾野）	
57	民営化のガイドラインについて、民営化の受け手はあるのか。	民営化に向けてはガイドラインを設け、それに基づき事業者を募り、運営の方針や経営規模、実績を評価して決定します。市内業者に限定したものではありません。受け手はあると考えています。	水口（伴谷・伴谷東、柏木、綾野）	
58	保育士の確保、待遇はどうなるのか。	子どもの保育は年齢によって保育士の人数が決まっています。規模が大きくなれば保育士の配置も多くなります。子どもたちにしっかりした安心安全な保育を行うために、保育士の確保をしていくのは当然です。また、待遇の改善にも努めているところです。	水口（柏木、綾野、貴生川）	

番号	カテゴリー	質問【要約】	回答【要約】	地域
59	幼稚園・保育園 について	公立園と私立園で格差があるように思う。市内に住んでいるのであれば、どこに行っても同じ教育・保育サービスを受けることができるのが原則である。格差についてどの様に考えているのか。	基本は公立園、私立園に関係なく同じです。ただし、私立園の場合はそこにプラスして、特色のある保育を実施しています。特色のある保育をされていることで、保護者の方の選択肢が増える。それはサービスの向上につながります。	水口（綾野） 甲南（希望ヶ丘）
60		来年の保育園の申込要綱の中で、学区内の保育園を申し込んだ場合、プラス8点が加点される事となっている。結局自分の住んでいる学区の保育園にしか行けないのではないのか。	指数表については、定員が超えた場合のみ適用します。学区内の加算については、小学校への入学をスムーズにするための、就学前の配慮です。	水口（貴生川、綾野）
61		幼稚園・保育園の場所によっては、統合されることで保護者の負担が増えると思うが、その点について対策は考えておられるのか。	統合することで、保育時間の延長、低年齢児の受入等、サービスを拡大することで保護者のニーズに届いていきたいと考えています。通園の支援についても、再編検討協議会の中で地域の方々との話し合いをもって検討させていただきます。	信楽（信楽、雲井）
62		行政サービスの観点から、近くの保育園が必要ではないか。生産性が上がると、市税が増えて市が潤うのではないのか。	保育園は義務教育ではなく、区域が決められているものでもありません。どの保育園にも行けます。園が統合し数が減ることで自宅から遠くなる場合もありますが、そこはサービスの充実で対応したいと考えています。	甲賀（佐山）
63	幼稚園・保育園 についての ご意見	兄弟で保育園と幼稚園にバラバラに通わせなくてはいけない状況なので、認定こども園ができることはありがたいと思う。	-	水口（伴谷・伴谷東）
64	学校規模 について	一定規模を目指す限り、再編が繰り返されるのではないのか。再編をすればクラス替えができるのか。	その点は大変危惧しています。土山小学校を継続する方法を検討していきたいと考えています。今回の計画で行けば、1学年2クラス以上になります。	土山（山内、鮎河）
65		小規模校の存続について考慮されたか。小規模校ではダメなのか。	小規模を否定しているわけではありません。今回の計画は、我々が望ましいと考える案を提示しています。小規模校への様々な手立ては検討します。	土山（山内） 甲南（第二） 甲賀（大原、油日、佐山）
66		課題は小規模校特有のもので、適正規模になれば解消されるのか。	子どもにとって安心な学校づくりが最も大切なことです。しかし、どんなシステムを作っても完璧なものとは出来ないと考えています。本来あってはいけない、ない方がよいものですが、もしかしたら、けんかやいじめなどに会うことがあるかも知れません。しかし、そのようなことに会うことで、経験を積み上げて成長していくと考えています。	水口（綾野） 土山（土山、山内） 甲賀（油日、佐山） 信楽（雲井、多羅尾）
67		適正規模校のメリットを強調されていたが、デメリットは何か。	小規模校の方が、適正規模校と比較して制限がかかります。ただし、小規模校がダメで、大規模校が良いというものではありません。小規模校で良いところが、大規模校では弱い。逆に、小規模校で弱いところが、大規模校では良い、裏返しのような話です。	水口（貴生川） 土山（大野、土山） 甲南（第二、第三） 信楽（雲井、多羅尾）
68		10年後の児童・生徒数はどうなるのか。	平成33年に入学予定の数は、現在生まれている子どもの数から読むことができます。（転出入含まない）しかし、それ以降は予測が困難です。	甲南（第二、第三）
69		適正規模は何を基準に決めているのか。数の原理だけで決めるのはやめてほしい。	適正規模という法律上の定義はありません。検討委員会の答申で示された規模を甲賀市の適正規模と定義しています。1クラスは35人程度、小学校は1学年2クラス程度、中学校は1学年4クラス程度としています。	水口（伴谷・伴谷東、柏木、綾野） 甲賀（油日、佐山） 甲南（第三） 信楽（雲井）
70		大規模校の方が子ども一人一人に目が届かない等問題だと思うがどうか。	大規模校、小規模校それぞれにメリット・デメリットはあります。大規模校だから一人一人に目が届かないというのはないと考えています。	甲賀（油日） 信楽（雲井）
71		校区が広がることで、子どもの行動範囲が広がると思うが、その安全対策はどう考えているのか。	今のところ具体案を示すに至っていないが、どこにどのような危険があるのか十分に検討した上で決めていきたいと考えています。	甲賀（油日）
72		切磋琢磨できる環境が大切なことは理解できるが、現状の規模でも、工夫次第でそういった環境を整備することができるのではないのか。例えば学校間交流等。	学校間交流でもできると思うが、一過性のもので、一番良いのは、移動しなくても日常的に競争したり、お互いに優しさを感じることができる環境です。切磋琢磨とは競争することだけではありません。	甲賀（佐山）

番号	カテゴリー	質問【要約】	回答【要約】	地域
73	学校規模について	なぜ同等規模の柏木小学校はそのまま、大原小学校は統合の対象なのか。	柏木小学校は、今後の推計で児童が増加すると見込まれており、再編の対象としていません。31年までを見ると、12学級以上となる見込みです。	甲賀（大原）
74		適正規模について、答申による適正規模は国の目指す基準と合致しているのか。	国の指針と合致しています。	水口（伴谷・伴谷東）
75		水口中学校と城山中学校の規模には大きな差があるが、それがピークになるのはいつで、どのくらいになるのか。またその対策は検討しているのか。	現在、水口中学校は、791名、城山中学校は、495名です。水口中学校は来年度から800人を超え、33年度は813名となります。城山中学校は、410名で約倍の差となります。ただ、今回の再編は中学校は計画していません。今後校区の変更等の検討もしていきます。	水口（伴谷・伴谷東、綾野）
76		水口地域は、学校の再編はないが、中学校の規模に大きな差がある。校区の再編等は検討していないのか。	再編の予定はありませんが、区域の変更あるいは通学区域の自由化が必要か、再編検討協議会で一つのテーマとして検討していきます。	水口（伴谷・伴谷東）
77		適正規模について、なぜ1学年2クラスが必要かわからない。私自身1クラスの学校で育ったが、問題を感じたことはない。	2クラスあれば、いい意味の競争心が生まれます。クラスのみとまりを強化したり、より高い目標を定めることができます。また、いじめ等の問題が起きた際にも、クラスを分けて冷却期間を設けるなど、幅広い対応が可能です。このことから1学年2クラスを提案しています。	水口（柏木）
78		貴生川小学校の児童は、今後減少が見込まれるとされているが、現在新たな住宅開発がなされている。また、貴生川に住居を求める若者も多いと聞く。そういったことを考慮すると、貴生川小学校の児童は減らないのではないか。	区画整理については、把握しています。現在生まれている子どもの数が把握できる、33年までを推計すると、新たな区画整理を加味しても、100人程度の減少が見込まれます。それ以降については、未確定の要素が多いため推計できません。	水口（貴生川）
79		学校規模についてのご意見	教育委員会で35人の適正規模に疑問を持つ人はいないのか。大切なことがこんなに簡単に決まって良いのか。適正規模の前に、教育力、人間性を高めることを大切にほしい。35人を20人に減らし、教員を増やすことも一つの方法として考えていただきたい。	-
80	学校施設について	統合校の場所はどこになるのか。	再編検討協議会の中で、意見を聞きながら決定していきます。	土山（土山、山内） 甲南（中部、希望ヶ丘） 信楽（信楽）
81		改修や増築を行い既存の施設を使用するのか、新たな学校に建て替えるのか。	既存校を使用するか、建替えるかについては、地域の総合的なことを考えたなかで新たな学校施設の見通しを立てていきます。	甲賀（大原） 甲南（希望ヶ丘） 信楽（信楽、小原、朝宮）
82		統合された後、学校はどうなるのか。	統合して学校（の機能）が無くなった場合は廃校になります。現在のところ、すべてを壊すことは考えていません。どう活かしていくのか、市も提案しながら、地域の皆さまと再編検討協議会でしっかりと考えていきます。	土山（山内） 甲南（第三、希望ヶ丘） 信楽（小原）
83		学校は現在避難所となっているが、統合して子どもがいなくなってもお金をかけて整備してもらえるのか。	廃校となった場合、すぐに取り壊すことは考えていません。今後の利用方法など、再編検討協議会の中で地域の皆さまが納得していただけるように検討していきます。	水口（水口、綾野） 信楽（雲井、朝宮）
84		通学距離が長くなるが、スクールバス等の運行は検討されているのか。	小中学校については、公共交通機関の利活用を含め、スクールバスについても総合的に考えています。保育園については、保護者の方の送迎を基本に考えています。	水口（伴谷・伴谷東、柏木、水口） 土山（土山、鮎河） 甲賀（油日） 信楽（雲井、朝宮、多羅尾）
85	通学手段について	通学費の負担は検討されているのか。	検討してまいります。	土山（鮎河）
86	通学路の安全対策、子どもの見守りをどのように考えているのか。	通学路については、地域の意見を聞きながらPTAと一緒に、安全確認し、毎年見直すこととしています。しかし、見直しができていない部分もあります。地域の方の力を借りながら、子どもの安全を第一に考えてまいります。	甲南（第一、中部）	

番号	カテゴリー	質問【要約】	回答【要約】	地域
87		スクールバスは、子どもたちだけの密室空間となるため、いじめ等が発生しやすいと思うので、配慮が必要である。	添乗者をつけるなどの検討をしていきます。	甲賀（大原）
88	通学手段について	通学距離は概ね小学校は4km、中学校は6km以内となっている。再編となると距離が大幅に長くなる。また昭和48年9月に出版している国の通達でも無理な統廃合の回避が挙げられている。地域住民との紛争を生じたり、無理な通学を避けなければならないなど通達が出ている。どのようにお考えか。	今回手引きが平成27年1月に出ており、同じことが出ています。それ以上の距離が出たらその手段も考えていかなければなりません。混乱が生じないように説明会、懇談会を実施していきたいと考えています。	甲賀（佐山）
89	通学手段についてのご意見	バス通学になると、体力の低下等も心配されるので配慮いただきたい。	-	土山（山内）
90		分離型、一体型どちらを検討しているのか。	どちらも可能となる計画をしています。皆さんの意見を聞き決めていくべきものであり、今ここで市としての答えは持ち合わせていません。	土山（山内）
91		9年間同じ仲間となり、環境が変化しないため、いじめ等があった場合逃げられないのではないのか。	様々な事情の子どもがいる中で、指定校変更制度があります。事情によって学校を選ぶこともできます。小中一貫を導入しても、この制度は設けます。	土山（山内） 甲南（第一、第三、希望ヶ丘）
92		小中一貫教育については、速やかに進めてほしい。	現在、中学校区単位で、小中一貫教育について何ができるか、検討しています。10年後ではなく、今からやっていく方向で進めています。	土山（土山）
93		小中一貫制度について、教員の意識や移動時間も考えると、小学校と中学校がそばにある方が良いと考える。	小中一貫については、どのような形になるにしても、その考え方はしっかりと取り入れていかなければならない時代に来ています。どういう形が良いのか情報発信しながら、検討していきます。	甲賀（大原）
94	小中一貫教育について	小中一貫と中高一貫の整合性についてどう考えているのか。	中高一貫は、県が実施している制度です。中学-高校の6年間をゆったりとした期間の中で教育することを目的としています。 小中一貫は、小学校から中学校に進学する際の変化を滑らかにすることで、子どもたちが9年間でしっかり成長できる体制、安心して過ごすことができる体制を目的としています。	水口（貴生川） 甲南（第一） 信楽（小原）
95		学校の目的は、人間力を育むとともに、基礎学力をつけることである。そういった中で、小中一貫校についても、長いスパンを見据えて考えてほしい。	9年間の成長を見ながら、その時々に必要な学び、確かな学力をつけることのできる学校をつくる必要があることから、その1つの手法として再編の有無に関わらず、小中連携、一貫した教育を導入したいと考えています。	甲賀（大原）
96		先行して小中一貫を行っている事例を提示してほしい。	県内では高島市、近隣では京都の東山等が挙げられます。教育委員会としても、広島県の呉市等にも視察に行き、データを収集中です。話し合いの中で、提示できるものについては提示していきます。	甲賀（大原）
97		小中一貫教育を導入することのメリットについて教えてほしい。	全国での取り組み結果を見ると、生徒指導の問題、学力の問題等について、かなり効果があることがわかっています。	水口（柏木）
98	小中一貫教育についてのご意見	統合すると同時に小中一貫校になると聞いて安心している。	-	信楽（雲井）
99	地域振興について	市の教育的ビジョンと併せて、人口減少対策としてのまちづくりビジョン、もっと大きな全体像を示してほしい。	市のまちづくりをどう考えているのかについて、市では部局を越えて「甲賀の国づくりプロジェクト」を立ち上げて、鋭意検討を重ねています。近々ご提示できるのではないかと考えています。	土山（大野、山内、鮎河） 甲賀（大原、油日、佐山） 甲南（第二） 信楽（雲井、小原、朝宮）
100		学校がなくなると更に過疎化が進み、子どもたちとのつながり、地域文化が希薄になるのではないのか。	子どもたちが他の学校に行ったとしても、子どもたちの生活の基盤が変わることはありません。このことから、今までと同様に、地域で子どもを巻き込んだ活動を継続していただくことをお願いしたいと考えています。	土山（大野、山内） 甲賀（佐山） 甲南（第三） 信楽（雲井、小原、朝宮）

番号	カテゴリー	質問【要約】	回答【要約】	地域
101	地域振興 について	市街化調整区域であるため、佐山に転入を希望されても、家が建てられずあきらめられた事例がある。このような状態では、地域の活性化も困難である。	人口減少から市街化調整区域については、都市計画法の中で地区計画を進め、外部から来られた方も建築が可能となる施策を進めています。地元と協議をして進めていきたいと考えています。	甲賀（佐山）
102		今回の再編で、学校を1つにすれば自治振興会も1つとするのか。	現時点では現状のままと考えています。今後、再編の是非を含めた再編検討協議会を立ち上げることとなります。その中で、地域活性化も含め協議を行いたいと考えています。	甲賀（大原） 水口（水口）
103		教育のことだけでなく、若い者が地方に住むためのまちづくりを願う。この計画では、若いものはここに住まなくなる可能性が大きい。	今後この計画を基に、皆さまと議論していくための、たたき台として作成したものです。皆さまと協議検討する場を持つことを約束します。	甲賀（大原）
104		若い世代が住まない地域が出てきて、油日学区は消滅するのではないのか。	学力を育ててもらえる学校を求めて移動する時代になっています。他地域から子どもを呼び込めるようなシステムを作っていくかなくてはならない。選んでいただけるような学校を作っていきます。	甲賀（油日）
105	地域振興 についての ご意見	自治振興会は、小学校区での繋がりを大切にしようとする趣旨ではないのか。	-	甲賀（油日） 信楽（雲井）
106	財政面 について	財政的なことについては検討されたのか。	経費についても詳細の部分はつかんでいませんが、再編により維持管理経費は削減できます。しかし、統合する学校の整備、通学手段の確保、跡地の利用等に、一定投資が必要となります。再編した場合としない場合では、大きく変わらないというのがシュミレーションの結果です。	土山（山内） 甲南（第一、第二）
107		今回の計画は本当に子どもたちのためなのか。財政削減のためではないのか。	財政面で今回の計画を作成したわけではありません。再編の有無に関わらず、施設の修繕等は今後も必要となります。また、再編した場合でも、通学手段の確保、受入側の施設の整備、跡地利用など一定の投資が必要となります。再編をしても極端に経費削減ができるわけではありません。	水口（柏木） 信楽（雲井）
108	アンケート について	アンケート結果が古いため、再度アンケートを実施するなど、子どもの意見、若い保護者の意見など様々な人の意見を聞いてほしい。	まずは、保護者の意見をもう少し聞かせていただきたいと考えています。子どもの意見については、今回の計画をどこまで的確に理解し、判断できるか疑問に思うところです。しかし、何らかの形で子どもの思いも聞きたいと考えています。	水口（柏木） 土山（大野、山内、鮎河） 甲賀（大原、油日、佐山） 甲南（第二、第三） 信楽（雲井、小原）
109		区域別の結果等アンケートの詳細を教えてください。	一例として、「小さい規模の小学校（きわめて小さい規模の小学校を含む）の再編は必要だ」と「きわめて小さい規模の小学校だけの再編は必要だ」で、貴生川小学校は、16.9%と24.4%。信楽小学校では、21.8%と32.4%。雲井小学校では、20.0%と35.0%。朝宮小学校では、38.9%と22.2%でした。	土山（山内） 甲賀（油日） 甲南（第二） 信楽（雲井）
110		「きわめて小さい規模の小学校だけの再編は必要だ」と回答した28%は、小さい規模の小学校は残せという意思表示である。アンケート結果の色分け円グラフのように「小さい規模の小学校（きわめて小さい規模の小学校を含む）の再編は必要だ」17%と合わせて「再編は必要だ」が45%と分析するのはおかしい。	「小さい規模の小学校（きわめて小さい規模の小学校を含む）の再編は必要だ」と答えた方が17%、「きわめて小さい規模の小学校だけの再編は必要だ」と答えた方が28%を合わせて「再編は必要だ」が45%との分析に問題があるとのこと指摘をいただきましたので、色分け円グラフを修正し、それぞれの回答結果を示すようにします。	甲賀（油日） 信楽（雲井）
111		アンケートは、学校の規模を示して行われたのか。	示しています。「きわめて小さい規模の学校」は5学級以下で、山内小・鮎河小・甲南第三小・朝宮小・多羅尾小の5校。「小さい規模の学校」は、6～11学級で、柏木小・大野小・土山小・大原小・油日小・佐山小・甲南第二小・甲南中部小・雲井小・小原小の10校。残りの8校が適正規模です。	信楽（雲井）
112	教員の意見を教えてください。	教職員の回答として、「小さい規模の小学校（きわめて小さい規模の小学校を含む）の再編は必要だ」14%、「きわめて小さい規模の小学校だけの再編は必要だ」27%、「どちらの小学校も再編は必要ない」28%、「わからない」21%でした。先ほどのスライドと同様に、「再編は必要」と回答されたのが41%となり教職員の方についても大差はありませんでした。	信楽（雲井）	

番号	カテゴリー	質問【要約】	回答【要約】	地域
113	その他	社会や地域に貢献できる人材が育成できるそんな学校をめざしてほしい。	再編により、甲賀市から良い人材を輩出できるようにしたいと考えています。	土山（土山）
114		学校には、長い歴史の中で培われた伝統や特色がある。統合する際には、これまで学校が取り組んできた伝統を新しい学校に引き継いでほしい。カリキュラム等を検討してほしい。	これまでの伝統をいかに引き継ぐかは、大きなテーマとなります。全く同じ形で引き継ぐことは難しいと思いますが、教育課程を編成していく段階で検討していきます。	甲賀（大原） 信楽（小原、多羅尾）
115		鮎河小学校が休校となったが、その経緯について教えてほしい。	まずは保護者の間で話し合いが行われ、教育委員会も相談を受けました。その後、地域も交えた協議会を立ち上げ話し合いが進められ、結果指定校変更制度を利用して現在土山小学校に通われています。	信楽（雲井）
116		再編後の授業等に、自然に親しみられる機会を設けてほしい。	新しく再編された学校をどうするのか、実施計画検討協議会を中心に、保護者や地域の皆さまとともに、しっかり考えていきます。	甲南（希望ヶ丘）
117		統合しても、学校の先生とかが少なくしてはいけないと思う。	制度上、多少管理職は減ることも考えられますが、担任の先生も含め先生の数はしっかりと確保していきます。	甲南（希望ヶ丘）
118		後援会予算で学校の物品を購入することがよくある。本来なら教育委員会で購入されるものと認識している。教育委員会はこれを把握しているのか。	教育委員会が全て賄うことが基本です。しかし、特殊なものがほしい場合、的確に手立てできないことがあります。その際、後援会のご理解のもと、学校と話し合い、教育委員会がなすこと、後援会にお願いすることに仕分けています。後援会の負担が少しでもなくなるよう努めていきたいと考えています。	甲南（第一、第二）
119		統合することで学力がどのように向上するのか。	統合し、組替えのできる規模にすることで、隣のクラスと競い合う場面も増え、それにより次の高い目標を持って頑張ることが出来ます。その中で学力も磨かれていくと考えています。	甲賀（油日） 甲南（第一、第三）
120		他学区へ1人では行ってはいけないという決まりがあると聞く。それにより、スポーツ少年団等に入る際、保護者の送迎が必要となり、あきらめる子どもがいると聞く。そういうことはあるのか。	教育委員会でそういった決まりは設けていません。子どもの安全を第一に考えた各学校の裁量による結果です。今回のような、特別な事情については、学校の先生と相談していただけたらと考えています。	甲南（第一）
121		鮎河から土山へ移った子どもたちに、変化はあったのか。	最初はバスに乗るのも戸惑っていたが、一学期を終えて、とても喜んでいきます。アンケートを取ったところ、放課後遊びに行くようになった、友達が増えた、などの良い報告を得ています。悪いところは今のところ聞いていません。	水口（柏木） 甲南（第二）
122		特認校制度はどうなるのか。	今回の計画がどうなるかまだ読めない部分が多分にあるため、当面の間は継続していきます。	甲南（第二）
123		縦割り行政による行き詰まりを解消してほしい。 例えば学童保育が学校を使おうと思っても課が違うので利用できない場合がある。	縦割り行政の弊害を防ぐため、部局横断的な調整を図っており、施設の有効活用についてご意見をいただければ対応させていただきます。	甲賀（油日）
124		学童の設置を要望しているが、今回の計画でそのことに変更が生じるのか。	学童と再編との関連はありません。健康福祉部で場所の検討をしています。	甲賀（佐山）
125		鹿深の家について、統合後も現在の環境を維持できるのか。	再編することになった場合も、油日や大原の子どもたちと一緒に今までと同じように育てていただけるようお願いしたいと考えています。	甲賀（佐山）
126		今回の説明会の結果はフィードバックされるのか。	終わった段階で取りまとめて、発信していきたいと考えています。	甲賀（佐山）
127	再編すれば、スポーツ少年団等の活動も統合され、拠点が遠方になると思う。小学校から生涯スポーツに関わる新しい方法を何か検討されているのか。	生涯スポーツの新しい方法については、まだ検討していません。しかし、その意義は大きいと感じます。今後1つになっても、活動を継続できますが、原則は一旦家に帰り、その後活動することとしています。今後、拠点が遠距離になる場合について、検討を要すると考えています。	甲賀（大原）	
128	学童について、移動手段等をどうするのか。統合等も検討しているのか。	学童については、継続します。再編の進捗により検討します。	甲賀（大原）	

番号	カテゴリー	質問【要約】	回答【要約】	地域
129	その他	統合の際、小中学校の教科書を同じにするのか、それとも学校レベルで変更するのか。	統合によって指導内容・教科書をかえるということは考えていません。教科書採択については、第二ブロック6市（草津市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市、甲賀市）で協議会を立ち上げ、その中では同じ教科書を使うことになっています。	水口（水口）
130		小学校の高学年、中学生にもこの計画の考え方を聞いて計画に反映してほしい。利用者の声を反映してほしい。	子どもの意見については、今回の計画をどこまでの確に、判断できるか疑問に思うところです。しかし、何らかの形で子どもの思いも聞きたいと考えています。	信楽（雲井）
131		再編で学校をなくすことは、少子化対策と逆行するのではないか。	市全体の少子化対策として「甲賀の國づくりプロジェクト」を立ち上げています、その中で、子どもたちの将来像のことや再編も含めて検討を盛り込んでいます。	信楽（雲井）